京城日報
夕刊（日）
編輯兼發行人 見島吉治
印刷人 小川三之介
京城府太平町一丁目
發行所 合資會社 京城日報社

斷末魔の南京
文字通りの地獄繪圖
〔米紙報道〕

【ニューヨーク二十七日同盟】ニューヨーク・タイムスの二十七日南京發電は斷末魔に喘ぐ南京の實情を左の通り報道してゐる

武官を殺し支那政府首腦連は既に全部漢口に引揚げてしまつた、これは勇敢な日本軍の進撃の前には支那軍の抵抗も長く持ち應へられないと認めたことを物語るものだ、一日に二千、三千の傷兵が前線から後送され南京市内はこれがため大混雜を呈してゐる、これら傷兵の殆んど大部分は砲彈或は爆彈の破片でやられたもので機關銃彈を受けたもの、小銃彈による負傷に至つては皆無と言つてよい有樣で傷兵は口々に日本軍の砲彈、爆彈の物凄い破壞力を物語り日本軍は姿は全然見えないが砲彈の雨が降り注ぐので手も足も出ないと云つてゐる、常州、無錫、嘉興等から運び出されて來た重傷者は下關停車場のプラットホームに放置され寒風と冷雨に曝され續々死亡して行く地獄繪卷を現出してゐるが、彼等の呻き聲は數町先にも聞えてその慘状は全く目も當てられない

英國あわてる
對支海關行政は事前に商議すること
駐日大使を通じ日本に要求

【ロンドン二十七日同盟】イギリス政府は駐日大使クレーギー氏をして『イギリスは海關收入を擔保とする支那公債關係國として支那海關行政の變革については事前に諮商を受けることを必要とするとの立場を堅持するものなることを日本政府に疑惑の餘地なく明確に通告せしめた』旨二十七日半公式に發表した、右に關して米、佛兩國も同樣の利害關係にあるため今日迄數次に亙り協議を重ね兩國政府も日本に明確な意思表示をなすに決定したが首唱者は固よりイギリスである、イギリスが斯る手段を取つた裏面にはイギリスの對支特殊地位の最後の堡壘として飽くまで海關行政を固守せんとする意思が伏在してゐるが日本が若し海關擔保債の管理支拂保障をすればイギリスは表面日本に被せる口實がなくなり問題は相當バリケートとなるであらうと見られる

【ワシントン廿七日同盟】日本が上海占領完了と共に同地における支那の稅關並に郵政權の接收に乘り出したとは、將來極東におけるイギリスの權益に重大影響を及ぼすものとして英國朝野に衝動を與へてゐるが、確聞するに英國政府は廿七日駐日大使クレーギー氏に對して日本が上海における支那の稅關又は郵便、有線、無線電信事業に關し新たなる取極めをなすに當つては事前に英國政府と商議するやう日本政府に要求すると共に同問題に對する英國政府の見解を十分日本政府に通達するやう訓令したと言はれる、英國政府は右訓令を發する前に米佛兩國と協議した模樣であるから兩國政府も同樣の手段に出るものと豫想される、英國政府は本問題を頗る重大視して居り一部では英國は九ヶ國條約國の共同動作を考慮するかも知れないといふてゐるが、廿九日からフランスのショータン首相、デルボス外相を迎へてロンドンで行はれる英佛會談においても極東問題が重要話題の一つとならうと豫想される

米國も關心

【ワシントン廿七日同盟】ハル國務長官は二十七日記者團との會見において東京駐劄大使グルー氏に對し『アメリカ政府は支那海關制度の保全を妨害する如何なる企圖に對しても關心を有する』旨日本政府に傳達するやう訓令を發したと發表、次の如く語つた

政府はグルー駐日大使をして廣田外相を訪問せしめ上海海關に關する日本政府の意嚮を確めさせたが、支那に於る海關制度は現在の機能並に收益分野に影響を及ぼすやうな方法で處理されるならばアメリカ政府としてはこれに關心を抱くのは當然である、上海駐劄各國領事も本問題に關聯し起るべき種々の問題に注意を拂つてゐるが、アメリカ政府も利害を共同にする各國政府と情報の交換を行つてゐる

大倉使節を中心に日伊の歡迎晩餐會

【ローマ二十六日同盟】伊太利駐劄堀田大使は廿六日夜帝國大使館において國民使節大倉喜七郎男を主賓として盛大な晩餐會を開いた、イタリー側はチアノ外相以下外交界、學界の名士多數出席し日本側から大倉男を始め隨員一同主人側から堀田大使以下大使館員陸海軍武官等出席日伊親善の實を擧げた

中央軍續々徐州に集結

【天津本社特電】黃河北岸に於る我軍の重壓と數次に亙る濟南以南の津浦線空爆により徐州一帶は遽かに緊張の度濃くなり、中央軍の大部分は目下隴海線を徐州へ向け續々集結しつゝあり、之が爲め徐州附近の民衆は兵火を避ける爲め早くも避難を開始し、之等避難民は反對に隴海線を西に向つて動き、徐州は軍隊と避難民とで大混雜を呈してゐる

丹陽を爆擊

【〇〇基地二十七日同盟】無錫既に落ち江陰陷落も目睫に迫つた際支那軍は尚も鎭江丹陽の線に據れるに對して、我が海軍航空隊は森永、原田兩大尉、嚴屋中尉指揮の精銳〇〇機を以つて、二十七日午後一時長驅曇天雲低き丹陽上空に飛び約二時間に亙つて地上の支軍と協力し、要塞、密集部隊、堡壘を爆擊、銃擊し敵に大損害を與へ全機無事歸還した

防共線に沿ふて飽まで日本を支持
ヒトラー總統の意圖

【ベルリン二十七日安達同盟特派員發】目下信頼すべき方面よりの情報によれば、ヒトラー總統は、最近側近者に日支紛爭に關する所感を洩らしたと云はれるが、右は從來黨機關で發表されて來た態度を裏書するもので、シヤハト博士に影響してゐた經濟界一部の意見を斷然排擊したものと云はれる、ヒトラー總統の洩らした感想として傳へられる所大の通り

一、防共の線に沿ふてあくまで日本の態度を支持

一、日本が長期戰に耐へずとの共產黨的デモクラシー的意見を排擊國內經濟界の悲觀論に與せず

一、支那共產黨を含む排日勢力を過大に評價せず日本の團結力精神力を信頼する

一、國府は容共運盛の誤れる政策を採用したが日本が問題の根本的解決を期して軍事行動を徹底せしめるであらうから蔣介石の沒落は今や時間の問題である

一、從つてドイツの對支政策は日本の方針に副ひ再檢討する

今回の防共協定を、又支那事變を不快視してゐると傳へられるシヤハト博士が經濟相を退きフンク氏が之に代つた結果ヒトラー總統の抱く右方針も愈よ本格的に自然の軌道に乘つて來るものと見られる殊にフンク氏は所謂ナチス經濟を遂行する人で貿易においても物々交換を本位に進展を圖る方針だから、伍堂使節の攜へ來つた日滿獨三國貿易の調整擴充案は從來より大いに進むものと期待され、更に對支貿易においてもシヤハト博士の獨善的態度を捨て日本との協力方針を確立することゝならう

と友好關係にある見地から推してドイツの調停說は極めて自然に肯けるが、紛爭當事國たる日支兩國から提案乃至申出でがない限りドイツ政府は勿論如何なる第三國と雖も調停に立つ譯に行かぬ、今までのところ我等の手許に兩國から何等申出でもない、ブラッセル會議では最初に日本に好意あるかに見せかけ遂て敵對的の態度を明白にしたが他方支那に對しては充分援助を約束した結果は支那側が示し始めた妥協の用意を窒息せしめるに至つた

清澤氏　時期を見てドイツは調停

成算なしには調停に乘出さぬ
清澤使節の質問にアシユマ氏答へる

【ベルリン二十七日安達同盟特派員發】國民使節清澤洌氏は二十六日外務省新聞部長アシユマ博士と會見次の如き問答を行つた

清澤氏　日獨兩國政府の否定にも拘らず依然ドイツ政府の日支紛爭調停說が傳へられるが御意見如何

アシユマ博士　ドイツが日支雙方

我抗議を拒絶
半島同胞移住問題に對する蘇聯政府の回答

【モスコー二十七日同盟】ソヴエト政府は最近沿海州在住二十萬の我半島同胞に對し壓迫を加へ、これを強制的に中央アジア地方に移住せしめたので、モスコーの帝國大使館はソヴエート外務人民委員部に對して嚴重抗議を提出した

黎明北支の胎動
反共新政權待望さる
天津にて　本社特派員　松田定久

北支の戰線は七月七日の蘆溝橋事件勃發以來四ヶ月に亘り冀東支那軍に壓迫の鍬は河北、察哈爾、綏遠から北支明朗の礎である山西太原に及び、今や殘るは山東濟南の一角に留り、勇猛果敢の我軍進行動の重點は中支上海戰線に移つて抗日の首都南京總攻擊の體勢下にある時、北支明朗化の黎明は全世界注視の中に東天紅を告げ、今ぞ大亞細亞の歷史に新たにして輝かける一頁を劃するの時は來た、一億民衆を持つ華北の動向は、未だ北支戰線平定までは、その南京政府のデマに乘ぜられて何長期戰の積み

の網を胸底に藏してゐるの感があつたが、既に北支は濟南の一角が殘るのみとなり、支那の心臟部大上海の撤兵に次ぐに國府首都南京の淪落を見るに及んで華北民衆の抗日分子の中にも既に『メイファーズ』（仕方がない）の言葉すら漏らすに至つた

◇

その間內蒙綏遠の蒙古聯盟自治政府の誕生によつて南京政府の羈絆を脫した蒙古七百萬民は防共の鐵壁を築いて總蹶起し、續いて察哈爾省では察南自治政府を、大同を中心とする外長城線と內長城線

內では此處に晉北自治政府を建設して、容共聯蘇の南京政府とは正反對の防共自治の堅い握手と赤色外蒙への防壁となつたが、折柄日獨伊防共協定一周年記念日に全世界に揭げた打倒共產黨の叫びと日を同じうして、冀東防共自治政府は此日午前九時から首都通州に於いて池宗墨長官を中心に日滿の要人列席の下に盛大なる新政府創立二周年記念式を擧行し、皇軍の大勝利を祝して防共陣營の強化を主張した、かくの如く華北を取卷く各防共自治政府の鐵壁陣に今や華北民衆も無關心で居るとは出

來ず、民衆の中には防共自治の名の下に既に華北青年黨等々の所謂華北の機會より外に亞主義に還つたによつて民衆の中に政府要望の叫びを狙つた蘇聯は歐洲赤化の失敗たゞ世界赤化の決すゞの一言を赤化に狂奔してルートを發祥た

◇

日のピラを目にすることすら出來ず、その反對に『打倒蔣共獨裁政』『打倒共產黨國民黨』『親善』『聯日防共協定東亞平和』『保障華北反共抗議根據地』といつた反共產ビラが僻地にまで撒らされて、民衆の胸底には新しく生れる新政府を待望してゐるのである

南京防衞戰略
外人に避難を勸告

【上海廿八日同盟】南京衞戍司令部當局は二十七日南京在留外人に至急避難方を勸告すると共に南京防衞戰略につき左の如く宣明した

南京防衞第一線として東は江陰常州を繫ぐ陣地をもつて京滬沿線よりする日本軍の進擊を防ぎ西方に強力なる陣地を構築して太湖南岸より蕪湖に向つて進擊せんとする日本軍を喰止める計畫である、第二陣は鎭江、句容の線に精銳部隊を配備してこれに當る、但し前線より退却部隊が南京に崩れ込む危險があるので在留外人は一刻も早く避難されんことを希望する

北支における見本市は尙早
恒久施設歡迎さる

政務總監東上

烏龍山附近の揚子江封鎖
死物狂ひの南京防衞

駐支米大使漢口に到着

政友會總務會

【東京電話】政友會では廿七日午前十時より本部に總務會を開き明年度豫算編成に關して政府に注意を促すべき事項につき協議の結果それぞれ態度を決定し午後一時散會したがこれを政府當局に通告するため散會後期數內村に於ては出征遺家族救護の不均衡是正の件、地方事業に對する地方債抑制を緩和すべき件、極端な消費節約の是正、その他道路港灣河川砂防など主なる土木事業につき、また賀屋藏相に對しては金融と公債との關係の輸出對策などにつき通告した

戰局日記【廿七日】

南京戰線

廿七日本社特派員の戰況綜合めざすは敵の首都南京——大本營下に武裝せる首都となつた南京——蔣介石が抗日抗戰最後の據點と恃む南京——そしてその陷落は支那事變に何ものかの到來を暗示すべき南京である——太湖の東、北、南を完全に確保したわが南京攻略軍は、各路より急進擊を續けてゐる、湖州（吳興）から三州山脈（太湖の西方）の麓に沿ひ太湖西岸を宜興に向つて進擊中の〇〇部隊は廿七日は白溪村、范家付更に午前十一時半には拓村を占領、更に當里亭を占領追擊を續け溧陽に向ひ、一部は宜興を脅迫、一部は長興〇〇に向け追擊を開始した、また長興から西進して泗安鎭を拔いた〇〇、山田兩部隊は二十七日午前十一時更に西方の十八

ら安徽省へ入つた、めざすは廣德だ、更に太湖北岸方面では常州に迫り、更に江陰攻略中の〇〇部隊は二十七日同地にわづか九粁に迫つた、なほ本社特電に

空爆戰線

各路よりの地上部隊の追擊に應じて海の荒鷲も勇躍羽搏き、二十七日は千田、三木兩主力部隊は南京前面の要地——金壇・廣德・丹陽・溧國

よれば鎭江附近の揚子江上に密集してゐるジャンク部隊にユニオン・ジャックを揭げた英國船が交つてゐるのでわが軍からは英國側に對し速かに撤退を警告した

の各地に大爆擊を敢行し敵前線と南京との連絡に痛烈な打擊を與へた、また北支戰線では陸の鷲は大名北東方の鉅鹿の敵部隊を爆擊、また島谷部隊は濟南南方泰安で敵列車を爆擊した

河南自治政府

蔣政權打倒、共產黨排擊を叫ぶ河南地方民衆は河北に先んじて自治政府を樹立することになりその歷史的盛典は廿七日午後二時より北支屈指の古城彰德城內の安陽縣城において行はれ、主席に蕭瑞臣氏を推した

拓務省の見解
南洋委任統治につきとかくの議論は不可

國定忠次 (125)
長谷川伸作　岩田專太郎畫

浄世の虫

日曜氣配

國民精神總動員!! 放送歌曲「海ゆかば」無代進呈

國民精神總動員强調週間に全國へ放送されました有名な歌曲『海ゆかば』の樂譜を御希望の方に無代で差上げます。日本精神の華とも申すべきこの古歌を全國津々浦々の皆樣に愛唱して頂き度い念願から、全費用をわかもと本舗で負擔し、教育資料會から刊行したものであります

御申込は郵券三錢封入、東京市芝公園わかもと本舗榮養と育兒の會編輯部へ。

胃腸病 結核 姙産婦 虛弱兒 の 生物藥療法

黴菌が藥になる

と云ひますと不思議に思はれるかも知れませんが、實際さういふ黴菌が發見されてをります。しかも、その藥としての効果が非常に廣いのが更に驚かれる特徴です。この黴菌はヘーフエ菌と呼ばれ、これを藥用に使つたといふ起源は非常に古いものですが、そんなに廣い効果のあることが知られたのは七年前にわが國でこの黴菌を巧妙に藥劑とすることに成功し、多數の人々に用ひられてからであります。御承知の方も澤山あると思ひますが「錠劑わかもと」といふ藥がそれでありますーーこの生物製劑「わかもと」が、七年間に數千萬の病、衰弱者によつて服用せられた結果を綜合してみますと次の様な作用があることが明かになつてをります。

胃腸の働きを强くして 消化、吸收を活潑にする

先づ第一に、「錠劑わかもと」は胃腸病に用ひていろいろの消化劑、健胃劑、整腸藥などを兼ねた効果があります。大概の場合醫者が胃腸の病人に藥を服ますとき、たゞ一種類の藥だけを處方するといふことはありませぬ。必ず數種の藥を調合する必要がありますが、この「錠劑わかもと」は胃腸病の治療に必要な種々の消化酵素、腸内の有害菌を防ぐ成分、便通を整える成分などが、謂はゞ天然に調合された様な藥で、もつとも良いことは胃腸の衰弱してゐる機能を强くして、自力で消化、吸收の働きを活潑にする作用のあることです。

☆胸やけ、ゲツプがとまり、胃弱なら衰弱してゐた胃筋肉の細胞が力を恢復して食慾が進みます。

だから例へば、胃酸過多症の人が「錠劑わかもと」を服むと胃壁の機能が正常になり胃酸の分泌作用が調整されて、ゲツプ、胸やけがとまり、胃弱なら衰弱してゐた胃筋肉の細胞が力を恢復して食慾が進み、腸カタルで消化力が衰へたのはヂアスターゼ、リパーゼ等の消化酵素の分泌が增して消化がよくなり、下痢便も正便になります。

結核菌の勢力を挫き 熱が下り、體重が增す

この様に胃腸の機能が强くなりますから、肺結核や肋膜炎のやうな榮養をよくして全身の衰弱を恢復しなければならない病氣の人が服みますと、食慾が進み、消化と吸收がよくなつて、體重も殖えれば、疲勞感も去り、抵抗力が昇まつて來ます。これを服むと、體内の白血球が殖え、病菌を殺す機能の强まることは京都帝國大學での實驗もあつて、この意味からも結核菌の勢力を挫きますから、別に解熱劑を服まないでも、だんだんに毎日の熱が下り病氣が輕快してゆくのが判ります。

☆「錠劑わかもと」を服むと體内の白血球が殖え、病菌を殺すはたらきの强まることは京都帝大學の實驗もあつて、この意味からも結核菌の勢力を挫きます。

便通をよくし、脚氣、浮腫、つはりを防ぐ

次に、大變にいゝと思ふは御婦人方に非常に多い便秘にこれがよく効く事です。これはカスカラとかさういふ下劑ではありません。便秘の多くの場合の原因になつてゐる腸の弛緩、または痙攣に對して、腸の機能を活潑にして自然的に便通を得させるものでありますから、腹痛の様な副作用がなく、續けて服んでも習慣性になることもありません。

☆便通をよくするばかりでなく、脚氣やむくみを防ぎ、つはりにもよく、産後の衰弱を早く恢復し、乳も澤山出る様になります。

殊に姙娠中や産後の、便秘はよくないのでありますから、さういふ御婦人は尚の事かういふ副作用のない便通劑が適當ですが、更に榮養の側から見ますと「錠劑わかもと」は非常に豐富なビタミンBを含んでゐます。姙娠中から産後お乳をのませる時期へかけて、ビタミンBを攝らなければならない量は、平生の三倍以上と想像されますので、普通の食事を攝つてゐたのでは何うしてもビタミンBが不足し、脚氣や胃腸病、浮腫などを起しがちです。それで「錠劑わかもと」を服みますと、便通をよくするばかりでなく、脚氣や浮腫を防ぎ、つはりにもよく、産後の衰弱を早く恢復し母乳も榮養に富んだのが澤山でる様になります

發育がよくなり 丈夫な體質を造る

次に子供に對する効果ですが、赤ちやんの時代は旺んな成長を營まねばならないので、榮養を供給する胃腸の負擔が大きく、その爲に胃腸が害はれ易く、一旦胃腸が惡くなると全身の衰弱もひどい譯でありますが、この「錠劑わかもと」を服ませますと胃腸の働きが强くなるので消化不良や、綠便、結便などがよく恢復します。牛乳育ちの赤ちやんの場合は牛乳にまぜて服ませますと、母乳兒に比べて遲れがちな發育を促進します。

や、成長したお子樣で身體が弱い、風邪をひき易い、お腹をこわし易いといふ様なのには「錠劑わかもと」は從來の一、二種の成分から出來た榮養劑や强壯劑の及ばない効果を現します。成分から云ひますと

☆牛乳育ちの赤ちやん等の場合は牛乳にまぜて服ませますと母乳兒にくらべて遲れがちな發育を促進します

成長素といはれる

ビタミンB2が極めて豐富で、アミノ酸、蛋白質、カルシウム、鐵なども含んでゐますので榮養素を萬遍なく補給する目的にも適ひますが、更に全身を組織してゐる細胞の働きが力付けられるので、その點から發育が大變によくなり、體質が丈夫になつて來ます。

☆風邪ひき易い、お腹をこわし易い、といふ様なお子樣には、「錠劑わかもと」は從來の榮養劑の及ばない効果をあらはします

この身體の細胞の働きを强めるといふのが「錠劑わかもと」の最もすぐれた特徴で、これを學問上細胞原形質賦活作用（Protoplasma・Aktivierung）といひ、いろいろの病氣を治癒する基調になるのはこの作用をおいてはないのであります。

胃腸 榮養 錠劑 わかもと

藥價低廉 一日僅か數錢

三百錠入 壹圓六拾錢

三百錠は大人には廿五日分・十歳前後の兒童には約四十日・五歳前後には五十日分・三歳前後には六十日分に當る

株式會社 わかもと本舗榮養と育兒の會

東京市芝公園

振替東京一七〇〇番・電話芝代表一一七五番

妻

小島政二郎作　宮田重雄繪　【105】

地獄（五）

『おや、座元の串…田に賛成の方は手を擧げて戴きませう。』

花田の言葉に

『はい。』

見渡す限り、全員の手が上つた。中には、

『賛成。』

と叫びながら、両手を擧げた者もあつた。

それでも、流石に反對だけは、誰一人手を擧げた者はなかつた。

『數を記録しますから、そのまま、どうか手を下さずにゐて下さい。』

さう云ひながら、花田が

『一、二、三』

と數へ出すのを見て、

『數なんか數へる必要はない。絶對多數は分り切つてゐる』

さう云つて叫んだ者があつた。

『そんなことをしてゐると、汽車に乘り遅れるぞ』

そんなことを叫ぶ者もあつた。

口惜しさ、みんなの激情の怨めしさ、鈴子は泣いても泣き足りなかつた。

子供のやうに、大きな聲を立てて泣いてやりたかつた。一人々々に武者ぶりついて、その無禮儕さを罵つてやりたかつた。

が、事は既に弾みが附いて、個人の意思などは見向かうともせず、巧みに暗示された方角へ手綱を切つて走り出した馬のやうに、逆歎に走り出した形だつた。

その時、

『花田、ちよいと待つてくれ。』

さう云ふ聲が聞えたと思ふと、櫻井と云ふ、座頭から云ふと五六番目にゐる、しかし人氣は一座を壓してゐる男優が、人を掻き分けてツカ〳〵と、すつかり全員を指導していゝ氣持でゐる花田の前へ近附いて行つた。

『おい、花田。この裁決には僕は不服だよ、不賛成だよ、反對だよ。』

櫻井は、まるで喧嘩を吹ツ掛けてゐるやうに、花田に食つて掛つた。

流石に花田も、櫻井の横槍に氣を呑まれて、手の數を數へるのも忘れて櫻井の顔を見守つた。が、咄嗟に氣を取り直した花田は、

『反對は御隨意だ。反對なら、手を擧げずにゐるまでさ。』

『さうぢやない。人間一人々々の運命に關はることなんなことを、その人の意思を無視して、多數決で極めやうとしてゐることに反對なのだ。』

『そんなら、なぜさつき僕が動議を提出した時、反對しなかつたのだ。』

『ここまで君が惡を發揮するか見物したかつたからだよ。兎に角、多數決は止めたまへ。』

『何？惡だと？』

『惡さ、それとも、君は惡でないと云ひ切れるのか。』

さう云ひながら、櫻井は、真正面から、花田の目の眞中を睨み入つた。

RADIO

二十九日（月）　第一放送

午前六時五五分　ニュース
同七時一分（東）基礎英語講座（三十三）
同七時三〇分（京）朝の修養『大乘起信論』　文學博士
同七時五〇分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分（城）今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時四五分（城）料理獻立（牡蠣のカレーライス）（クエイホアリーロー・清湯）
同九時五五分（東）家庭メモ
同一〇時二〇分（城）婦人の時間　時局に相應しい婦人の服裝　前田勇
同一〇時三〇分　家庭講座　時局と子供の教育　西川
正午（東）時報外
午後零時五分（東）チエロと独正調オルガン
同零時三三分（大）國民歌謠　大阪ラヂオオーケストラ
同零時三〇分　ニュース
同一時一五分　家庭の時間（釜山）　尹聖相
同二時（大）小學生の時間『寺四』　大阪科學劇協會
同二時三〇分（東）婦人の時間　歐洲大戰當時の婦人勞働について　吉阪俊藏
同三時一〇分（東）教師の時間　學校遊戯指導講座（十）
同四時　ニュース外

京日特選棋譜（1）

八段　高部道平
四段　荒木親吉

大斜は安定策　強抗で進む

覆面道人

斯局の兩者は今迄にも七局打つて荒木氏が黒星四點。そして本局は紙上には初の手合せでもあり、荒木氏は慨然に備へて、先づ黒四迄と成つた。それは黒四を八へ好い、が、黒四は白三を挾撃の立場で、黒四を八上り強抗といふ次第だ。

「これは敵に歡迎」

次に白の立場は、白三で（い）だと、黒に握りに大と縮られる。それでは前途黒に分り悪い布石を辿る白の不利である。

オヂラ

歐洲大戰當時の婦人勞働について

吉阪俊藏

吉阪氏は現在社會局參與で國際勞働會議政府委員として數度渡歐、大戰直後も平和會議日本政府委員隨員として渡歐されました。

世界大戰中男子の出征のため勞働力が不足すると之に代つて多數の婦人が職業戰線に進出しました。軍需品工場に働く婦人の數は佛國は百萬、英國は百五十萬、獨逸は二百萬に達しました。大臣や大將の夫人にて篤志勞働者として週末に工場に働いた人もあります。其外郵便の配達、機關車の掃除、自動車の運轉、農業の力仕事等に從事し又銀行、保險會社等にて可なり高い地位に働く婦人も出來ました。戰爭は婦人の解放を行ふと稱せられ婦人の高等教育は大戰を契機として發達しました。戰爭は男子だけのなすものでなく婦人の力に大いに關係すること又戰時に於ては男女の性に依る分業は殆どなくなることを當時の見聞に依つて述べてみたいと思ひます。

和樂の夕

歌澤

歌澤寅右衛門・外

婦人の時間

時局に相應しい婦人の洋裝

前田勇

（明治卅九年九月八日第三種郵便物認可）

昭和十二年十一月廿九日

京城日報號外

【本紙不再錄】

發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話本局（2）一八一一番 振替口座京城三〇〇番 編輯兼發行人 兒島吉治 印刷人

改定防衛司令部令

從來の計畫機關制度より 實行機關制度に移す

【東京電話】陸軍では二十九日官報をもつて軍令防衛司令部令を公布し十二月一日施行することとなつたが、之は現行防衛司令部令の改定であつて、その主旨は防衛司令部を國都防空の實行機關とし、且つ平時より防衛上の任務を附與しなければ防空の目的達成すること困難なるに鑑み、從來の計畫機關制度より實行機關制度に移し、且つこれに伴ひその權限を擴大さんとするもので、改正要點左の如くである

一、從來要塞司令官は當該師團長の管轄下にあつたが、今後防空司令官の統轄下に入ること

一、各防衛司令官の擔任する防空管區及び警備管區の區域を擴張したこと

一、從來防空管區內の軍隊に對し防衛司令官は防空計畫上必要な事項にのみ區處（本然の指揮系統を有せざる部隊に對し、擔任範圍内の事項についてのみ一時處置）することを得たが、今後は防空及び所管警備區の警備に關して且つ軍隊に對する直接指揮權を持ち、且つ從來區處し得なかつた憲兵司令部、憲兵隊、航空兵團司令部、陸軍官衙學校等をも區處し得ることに改められたこと、なほこれに關聯して要塞司令部條例中の一部改正を公布することとなつた、改定防衛司令部令左の如し

陸軍省發表

軍令陸第八號

防衛司令部令

第一條 東京ニ東部防衛司令部ヲ、大阪ニ中部防衛司令部ヲ、小倉ニ西部防衛司令部ヲ置ク

第二條 防衛司令部ニ司令官ヲ置ク

防衛司令官ハ陸軍大將又ハ中將ヲ以テコレニ親補シ 天皇ニ直隷シソノ所轄區域ノ防衛ニ任ズ

第三條 防衛司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰計畫及動員計畫ニ關シテハ參謀總長ノ區處ヲ受ク

第四條 防衛司令官ノ防空ニ付キ擔任スル防空管區ノ區域左ノ如シ

東部防衛司令官

第一、第二、第八、第十四師管

中部防衛司令官

第三、第四、第九、第十、第十一、第十六師管

西部防衛司令官

第五、第六、第十二師管

防衛司令官ノ警備ニ付キ擔任スル管區ノ區域左ノ如シ

◇東部防衛司令官

第一師管

◇中部防衛司令官

第四師管

◇西部防衛司令官

第十二師管

第五條 防衛司令官ハ所管防空管區ノ防空及所管警備管區ノ警備ニ關シテハ、同管區内ニアル陸軍軍隊（憲兵司令部、憲兵隊及航空兵團司令部ヲ除ク）ヲ指揮シ、憲兵司令部、憲兵隊及航空兵團司令部並ニ陸軍ノ官衙學校ヲ區處ス、防衛司令官ノ所管警備管區内ニ限リ師團司令部條例第四條、第四條ノ二、第五條ノ規定ニ依ル師團長ノ職務ハ防衛司令官之ヲ行フ

第六條 防衛司令官前條第一項ノ規定ニヨリ飛行部隊ヲ指揮シタル時ハ航空兵團長ニ、憲兵司令部、憲兵隊又ハ陸軍官衙學校ヲ區處シタル時ハ所管長官ニ速カニ之ヲ通報スベシ、前條ニ依リ防衛司令官ノ行フ防空警備ハ海軍ノ警備勤務ヲ妨グル事ナシ

第七條 防衛司令官ハ所管警備管區内ニアル要塞司令部ヲ統轄シ、ソノ防禦計畫ヲ管轄シ動員計畫ヲ監督ス

西部防衛司令官ハ朝鮮海峡海面防禦計畫ニ關シ、鎮海灣要塞司令官ヲ區處スルコトヲ得、前條ノ區處ニツイテハ豫メ朝鮮軍司令官ニ協議スベシ

第八條 防衛司令官ハ防衛ニ關スル演習ノ爲メ所管區域ニアル部隊ヲ使用スルコトヲ得、前項ノ部隊ヲ使用スルニツイテハ師團長又ハ師團長隷下以外ノ軍隊官衙學校ノ所管長官ト豫メ協議スベシ

第九條 防衛司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

參謀長、參謀、副官、部員、部附、准士官、下士官及判任文官

第十條 第十一條、第十二條（略）

附則 本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年軍令陸第十號ハ之ヲ廢止ス

軍令陸第九號要塞司令部條例中左ノ通リ改正ス

「要塞司令部條例」ヲ「要塞司令部令」ト改ム

第一條中「師團長、台灣ニアリテハ台灣軍司令官、朝鮮ニアリテハ朝鮮軍司令官、關東州ニアリテハ關東軍司令官」ヲ「師團長第一、第四及第十二師管ニアリテハ當該師管ノ防衛ニ任ズル防衛司令官、台灣ニアリテハ台灣軍司令官、朝鮮ニアリテハ朝鮮軍司令官、關東州ニアリテハ關東軍司令官隷下以下同ジ」ニ改ム

附則 本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

敵を急追中の部隊 常州市外に肉薄

下泗安〔長興西方三里〕も占領

【上海二十八日同盟】上海軍二十八日午後六時發表：（一）一路南京方面に敵を急追中なりし我部隊は本朝來常州を攻擊中にして、その第一線部隊は既に常州市外に肉薄せり（二）長興占領後決河の勢をもつて廣德附近の敵を急追中の我第一線部隊は本日晝頃下泗安（長興西方約三里）を占領し、更に敗敵を急追してその先鋒は既に安徽省境を越えて西進せり

【無錫二十八日同盟前田、荒井兩特派員】破竹の勢をもつて一氣に京滬沿線を猛進中の我が○○部隊は、二十八日午前十時過ぎ常州東方約九キロ餘りの路城鎭を占據し、更に前進を續け陸海航空隊の活躍と呼應し、二十八日夕刻には常州東南三キロの地點を突破し、常州市內外廓に敵を壓迫し、將に市街戰に移らんとせり

常州東南部落の一角占據

【無錫二十八日同盟】京滬沿線の敵を常州城に追ひつめた○○隊の先鋒は、敗敵に追尾しつつ二十八日午後六時過ぎ遂に常州城東南の部落に突入、その一角を占據した

南京の背後を 敵死守せんとす

壯烈な陣地戰行はる

【吳興二十八日同盟】廣德街道を前進中の長野、山田部隊は三州山麓を越えて獨山の線に到達した、なほ敵は南京の背後を死守せんと獨山の地の利によつて反擊を加へ我軍又猛攻の勢ひをもつてこれに肉薄し壯烈な陣地戰が行はれてゐる、敵は夜を日に次いで鐵道及び街路上に大部隊の増援軍を輸送、決戰を試みんとしてゐるが、終日行はれた我が渡邊挺身部隊、陸軍飛行隊の猛爆擊に甚大なる打擊を受けてゐる

米陸軍強化を強調

【ワシントン二十七日同盟】アメリカ陸軍長官ハリー・ウッドリング氏は二十七日左の如く年次報告を發表、アメリカ陸軍強化擴充の緊急性を強調した

一、アメリカは不幸の戰爭に備へるため軍備をより一層強化しなければならぬ、特に世界人類の四分ノ一の平和が攪亂され脅威されんとしてゐる現在、アメリカ自國の平和保全に一層の重大關心を示すのは當然である

一、アメリカ陸軍の兵力は昨年に比べて總體的に強化されたが、これは世界主要各國が尨大な軍事豫算を計上顯くべき軍備擴充を行つた結果によるものである アメリカがかゝる熱病的軍備競爭の渦中に捲き込まれるとは勿論挑戰すべきことではないが、少くとも本國並に屬領を防衛するに足る軍備を有することは必要である

一、目下アメリカ陸軍の兵力は正規軍士官一二、二六九名、兵一五八、六二六名、州兵士官一三九〇六名、兵一七八、〇五一名 近代的飛行機一、〇〇〇臺であるが、この外になほ數百台の舊式飛行機を有するもすべて廢機に近く目下一千臺の新銳機を建造中であり、恐らく一九四〇年迄第一線近代機二千三百二十機に増加せしめる豫定だが、爾後廢機補充のため年々約五百台宛新銳機の建造が必要である

一、アメリカ陸軍強化のため余は左の諸項實現を勸告する

正規軍數の增加案▲下級士官並に兵の俸給增額▲航空機研究計畫擴張▲軍隊裝備の近代化▲ワシントンに陸軍省新築

[illegible]蘇州[illegible]—航空便

廣德、丹陽、常州を猛襲

陸海軍機縱横に大活躍

【上海廿八日同盟】稀の鬼神將、川侍各主力部隊は本日午前その精鋭○○機をもつて廣德に飛び、敵主要陣地に反復爆撃を行ひ、更に○○機は常州に現れ海軍機と協力して常州の敵を掃蕩した

【上海二十八日同盟】海軍航空部隊千田、三木兩部隊の主力は本日絶來絶好の飛行日和を利用し昨日に引續いて常州に飛び縱横無盡に敵舞、地上部隊の猛烈な攻撃戰と相俟つて敵主要陣地に○○○キロの瓦彈を浴せた、又榊原、江原兩大尉指揮の○○機は機翼を連ね廣德、丹陽に飛び兩地の敵陣を猛爆した

渡洋爆撃部隊○○機は二十八日敵の[illegible]を踏して長驅廣德を衝き、[illegible]中の地上部隊と呼應して敵陣目がけて瓦彈を投下し、壯烈な爆撃を敢行した

粤漢線等要衝の大爆破を敢行

【香港二十八日同盟】二十七日正午過ぎから開始された我海軍航空部隊の粤漢線等交通線要衝の爆破は○○○機の精鋭をもつて敢行され、廣東の東南方面には樟木頭と石龍、石湖各要衝並に石龍鐵橋等に甚大なる損害を與へ、更に粤漢線では横石、黎洞、連江口等各驛を徹底的に破壊した、これがため各線とも列車の運行は停止され又廣東、香港間の長距離電話は昨夜修理されたが、今朝七時又復不通となり我海軍の連續的空襲は二十八日も敢行された

宜興の占領 間近し

【呉興二十八日同盟】杭州灣上陸部隊は二十八日朝來宜興へ向つて進撃を續け、午後零時四十分頃には宜興を距たる五キロの地點に到着した、敵は半山の險峻を背にして交戰中である、又奇襲戰術をもつて太湖北岸を横斷、今朝突如沙塘港に上陸した○○部隊は直ちに追撃を起して西進

我方支那新聞檢閲所を接收

【上海二十八日同盟至急報】我方は二十八日支那側新聞檢閲所を接收した

發表【上海廿八日同盟】上海軍午後六時發表——二十八日午後三時在上海北同租界内新聞檢閲所に完全に我が手により接收せられたり

海軍渡洋部隊 長驅廣德爆撃

【上海廿八日同盟】海軍航空隊の

大野政務總監 昨夕東京着

【東京支社特電】十三年度の豫算折衝を始め政務打合せのため二十八日の急行飛行便で東上した大野政務總監は矢谷秘書官と共に同日夕豫定より三十分遅れ午後五時二十分羽田飛行場着、出迎への夫人令嬢始め水田、湯村兩局長、田口衆議院書記官長、赤木拓務省秘書課長、東京拓務所員等に挨拶を交し『今日は福岡から海路近くまで濃霧が立ち罩めかなりの難航で多少遅れたやうだ』と飛行の一端を洩らし、頗る元氣で官邸に入った

津田女史の油畫作品展 けふも三越で

閨秀畫家津田八重子女史の油畫作品展は廿八日から京城三越五階(三階)で開催されてゐるが、同女史が今春來遊歴した滿洲、錦州、上海、北京、北支、大連、奉天、熱河、新京、ハルビン、京城などで得た各力作は何れも一般から推賞されてゐる、同女史は岡田三郎助畫伯の門下で東京女子美術を出た人、最に東京日日新聞女[illegible]三教鞭を採り、その間鮮展にも出品したことあり、堅實な畫家として將來を嘱望されてゐる、尚同個展は廿九日も開催されるが一般の清遊を希望してゐる【寫眞は津田女史個展の一部】

井家溝の敵陣を奇襲し猛爆

【天津二十八日發風間本社特派員】我陸の荒鷲山平部隊の○機は二十七日午後濟南西南方五キロの井家溝にある敵陣地を奇襲し猛烈な爆撃を加へた これがため濟南附近の敵は總方[illegible]